

令和6年9月17日（火） デーリー東北

壇上で活動成果を発表する生徒



持続可能な地域社会づくり 三戸高生 活動成果発表

「みらいキャンパス」探究報告会

三戸

青森県立三戸高（直町年
行校長）2、3年生による
「三戸みらいキャンパス」
探究報告会が12日、同校体
育館で開かれ、高校生が持
続可能な地域社会をつくる
ために取り組んだ活動の成
果を発表した。

2、3年生55人は本年度
13班に分かれて「総合的な
探究の時間」で地域住民の
協力を得て、観光ツアー立
案やイベントへの参加、歴
史探究事業などを実施して
いる。

このうち1班は、今夏に
熊原川で開かれたさんのへ
川まつりでブースを開設
し、カードゲームで子ども
の知育を目指す事業を実

施。「大きな声で呼び込み
ができなかった」「告知ポ
スターは大きな文字で分か
りやすく表記する必要があ
った」などの反省点を示し
ながら、今後もイベントで
活動し、三戸郷土かるたの
作成を目指す考えを発表し
た。

最後に、助言者として参
加した八戸学院大地域経営
学部の井上丹准教授が「探
究テーマを設定した理由
や、活動する中でどのよう
な感情を持ったかを大事に
してほしい」とアドバイス
した。

今回の発表を踏まえて、
各班は探究内容をブラッシ
ュアップし外部コンテスト
への参加を検討する。

（熊谷勝之）